

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

5- -9

5-  
-9

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	ブランドイメージの構築
	節	. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	9	シンボルマーク、キャッチコピー等の設定	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課、佐渡市企画課、佐渡市観光振興課、佐渡市地域振興課、県中小企業団体中央会、佐渡観光協会、佐渡連合商工会、(株)ゴールデン佐渡、佐渡汽船(株)
事業実施期間	H28～H34			
⑳ 事業計画と実績	【事業目的】 佐渡金銀山のブランドイメージを構築し、佐渡及び新潟県全体のイメージアップを図る。			
	【事業内容】 シンボルマークや、キャッチコピー等を設定し、佐渡金銀山のブランドイメージを効果的に発信する。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 新たなシンボルマーク等の設定については、国内推薦決定後の継続協議としているが、国内の他資産の推薦前と推薦後のシンボルマークの設定状況などを調査する。			
	【29年度実績】 新たなシンボルマーク等の設定について、国内の他資産の推薦前と推薦後のシンボルマークの設定状況などを調査した。			
課題・今後の取組	【課題】 国内の他資産の推薦前後のシンボルマーク設定状況を調べた結果、新たに設定した資産は少なかった。今後、設定の必要性について議論を進める必要がある。			
	【今後の取組】 関係機関による、検討チームの立上げを行う。			
事業評価	【事業の達成度】 { a・(b)・c } 計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 関係機関との連携により着実に事業を実施する。			
	【事業実施の効果】 { a・(b)・c }			
	【総合評価】 { A・(B)・C }			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。